

直木純二郎氏の外務大臣表彰 祝賀レセプションの開催



2月17日(火)、高岡総領事は、直木純二郎氏が昨年8月4日に岸田外務大臣より外務大臣表彰を受章したことを祝い、祝賀レセプションを開催しました。直木氏は、日米文化交流等の支援に並外れた足跡を残し、その素晴らしい人柄と広範囲にわたるネットワークにより、多くの日本関連行事に積極的に関与してきました。その日本とアメリカ合衆国との相互理解促進に向けた貢献が高く評価され、今回の108人の受賞者のひとりとなりました。

レセプション冒頭、高岡総領事は、直木氏の日米交流に関する多くの功績を賞賛し、今後将来にわたり、同氏とともに歩を進めていくことへの期待を述べました。また、日米協会理事を務めるジョー・ハフナー氏が直木氏の人柄とともに、ヒューストンでのこれまでの活動ぶりについて紹介しました。また、直木氏のアラバマ駐在時代の旧友の方々がアラバマから駆けつけ、チャールズ・ダーナム氏が代表として直木氏との当時の思い出を語りました。

直木氏は、本レセプションに出席した多くの友人に感謝し、その行動のきっかけとして、1980年代のアラバマ州での会社設立時に、海外赴任時における文化とビジネスのあり方を理解する大切さを実感し、その経験に触発されて国際関係の促進に取り組み始めたと話されました。さらに、ヒューストンでのご自身のこれまでの取り組みについて紹介する中で、この30年間で築いた功績は、レセプション出席者を含む多くの関係者の協力なしには成し遂げられなかったとの謝意と、引き続き日米親善の促進に向けて取り組む決意を述べ、日米友好を担う次世代のために祝杯しました。

<主な足跡と功績>

直木氏の文化交流行事への関わりは枚挙に暇がなく、その献身的な貢献は当地関係者から大きな賞賛を得ております。主な功績は以下の通りです。

直木純二郎氏は日本に生まれ、1984年から90年までアラバマ州三菱商事駐在員として同子会社Coilplus設立のため初めて渡米。在任中、日系企業間の絆を築くため、北アラバマ州日本商工会を設立。また、在アトランタ日本総領事館と協力し、ハンツビル市日本語補習校の設立に尽力した。1989年には日米友好及び相互理解の促進に向けてアラバマ州日米協会を共同で立ち上げ、副会長に就任(1年間奉職)。これらの活動や日系企業の誘致の功績が認められ、アラバマ州知事より、1984年に名誉市民、1988年に名誉中佐、1990年に名誉大使の称号を授与される。

1998年、サタケUSA社社長として米国ヒューストンに赴任。2003年、グレーター・ヒューストン日本人会の第一期副会長に、2005年から2年間、第二期会長に就任。2010年から現在までヒューストン日米協会会長就任。同協会では、ヒューストン市ジャパン・フェスティバルや日本語スピーチコンテスト等の様々な活動を安定的に開催するため、組織力強化に尽力。ハーマン・パークの日本庭園の改修工事や保安全管理のため、庭園家の当地招聘や資金集め行事を開催。本年6月に、惜しまれながら会長職を辞する予定。

なお、直木氏には2003年から2013年まで、当商工会の副会長や特命理事としてもご貢献頂きました。



平成27(2015)年2月度 商工会理事委員会 議事録

日 時: 平成27年2月19日(木) 11:30~13:15

場 所: 住友商事社 会議室(10階)

出席者: 名誉会長1名、名誉会員1名、理事委員13名、正会員2名、事務局長

欠席者: 理事委員8名(うち会長委任8名)

司 会: 金子公亮幹事

1. 商工会会長連絡(高杉楨会長)

昨年11月に始まった油価の下落による影響が懸念され、今年に入って数千人規模のレイオフを行う企業も出てきている。一方、経済指標や生活的実感からすると依然として不景気を感じさせないヒューストンである。失業率は、昨年12月に4.1%で、過去10年で最低であった2008年の3.8%に近づこうとしており、アメリカ全体の失業率(5.4~5.6%)を下回っている。また、国内線・国際線の空路による当地への出入りを見てみると、昨年1年間で過去最高(980万人)を記録している。今年6月にANAがヒューストンに乗り入れるようになると、当地が南米への乗り換え拠点となる可能性もあり、日本人客の出入りもさらに増加する可能性がある。当会は地域社会への働きかけを通して日本の存在感を高めていくことを大切に考えており、会員企業の皆様にも今後、ホロコースト博物館やジャパンフェスティバル等のイベントへのスポンサーシップを前向きにご検討のうえ、ご協力いただきたい。

2. 総領事館連絡

* 岩田慎也領事より

5月下旬に国際宇宙ステーション(ISS)への出発を予定している油井宇宙飛行士の壮行会を3月11日(水)午後7時より公邸にて開催する予定。商工会役員及び特命理事へ招待状を送付したので、ご都合のつく方は是非ご出席頂きたい。また、NASAに資機材等を納品されているような企業があれば、追加でご招待させて頂くのでご連絡願いたい。

* 高岡望総領事より

ホロコースト博物館から依頼を受け、4月30日に開催されるLyndon B. Johnson Moral Courage Award Dinnerへの案内を本会議にて配布した。このイベントにおいては、第二次世界大戦中にリトアニアに外交官として勤務していた故杉原千畝氏がナチスに追われているユダヤ人6000人の命を救うために日本への通過ビザを発行した功績を称えて表彰されることになっており、ご遺族が本賞を受賞される予定。会員企業の皆様には、テーブル購入による支援をぜひお願いしたい。同DinnerのHost Committee Memberの一人であるCole Chemical社社長のDonna Cole氏より、費用を折半するというオプションもオファーされているのでぜひご検討いただきたい。また、3月6日が申込み期限となっているが、1週間程度期限延長が可能とのことであり、必要な場合はご相談頂きたい。本年は戦後70周年だが、本件は大戦中に日本人が行ったことで米国で前向きに評価される数少ない事例であり、このようなイベントへの積極的な参加はとて有意義なものであると考えられる。

3. 会計幹事報告【承認事項】(加藤信之会計幹事)

* Gulf Stream編集用PC購入について

会報誌の編集作業に従来より使用していたPCの老朽化と、DTP担当の編集委員を増員したことにより、ハードウェア・ソフトウェア両面できちんとした体制を備える必要があることから、それらを新規購入するための追加予算措置を諮ることとなった。購入対象となるのはノート型パソコン2台で支出は合計で3,600ドルとなり、当年度減価償却として計上すべき金額が当初予算400ドルであるのに対し、修正予算として900ドルに増額する(期初予算比500ドルの増加)ことが過半数の票をもって承認された。

4. 2015年六者交流会関連報告【承認事項】

(猿川秀正会員: 及川毅第一副会長代理)

今年のテキサス六者交流会がヒューストンで開催されるにあたり、ホスト役主幹事の住友商事社、副幹事のJAXAと中部電力社の代表者によるキックオフミーティングが1月29日に行われた。本委員会にて交流会の要領とスケジュールを含む幹事案を説明し、過半数の票をもって承認された。開催日は、11月6日(金)、7日(土)とし、見学先はJohnson Space Center(NASA)、ゴルフ場は空港に近いTour18を予定している。宿泊先や懇親会会場、講演会会場、講演者等については候補を絞り検討中である。ホテルからの見積もり取得(部屋、懇親会会場)、宿泊者の予約管理についてはJTB社に依頼する。具体的な予算作成にあたり、過去数年間にホスト役を務めた他都市の商工会より情報を収集し、詳細を検討することとなった。会員の皆様にはご支援ご協力をお願いしたい。

5. 2015年ジャパンフェスティバル関連報告

(小林浩子事務局長: 鈴木一副会長代理)

4月18日(土)、19日(日)開催の同フェスティバルについてボランティアの協力依頼を本理事委員会後、メールにて会員各社にお願いする予定。また、後日、主催者の日米協会が設立したThe Japanese Festival of Houston, Inc.の依頼を受けて、各社への寄付依頼状の発送も予定している。同団体は、代表に在日米軍動

務の経験のある退役海軍大佐Justin Cooper氏を指名、また外部イベントコーディネーターMelissa Krauser氏を採用し、新しい体制で準備を進めている。商工会幹事会社のクラン社は、この両者と密に連絡を取りながら商工会担当であるKid's Activityの成功に注力していくので、皆様にはご協力のほどお願い申し上げたい。

6. 第一回宇宙セミナー開催について

(小林浩子事務局長: 酒井純一対外交流特命理事代理)

3月8日(日)に開催予定の当セミナーでは、Space Center Houstonに於いて講演会とトラムツアーを行う。今回は、JAXA職員を講師として迎え、「国際宇宙ステーションの日本の実験室「きぼう」〜これまでやってきたこと、これからやること〜」についての講演会となる。2月18日(水)に事務局より案内を配信したが、短時間に申し込みの返信が殺到し、同日のうちに70人の定員をオーバーして受付を締め切った。第二回の宇宙セミナーは6月に、また第三回宇宙セミナーは8月~9月頃に開催を予定している。

7. 日本庭園関連報告(加藤真人他団体対応・日本庭園特命理事)

例年通り、日本から庭師をお迎えし、本日より10日間の日程で日本庭園の植木の剪定等のメンテナンスを行う。後日、ボランティアによる清掃活動を実施することになるので、皆様にはご協力を願いたい。また、2017年に同庭園が開園25周年を迎えるにあたり、記念のゲート等、施設を建設することになっており、市およびHermann Park Conservancy等から出るおよそ95万ドルの予算に加えて、さらに50万ドル程度の経済的援助を必要としている。当地の日系企業にはぜひ寄付のご協力をお願いしたい。

8. 新規入会申請について【承認事項】(金子公亮幹事)

全会一致で下記の正団体会員1社と準会員1名の新規入会が承認された。

* 正団体会員 Texel-Seikow U.S.A., Inc.

* 準会員 酒井健司氏(CBRE社)

9. 委員会・部会関連事項

①スポーツ委員会(薮野太一副会長兼スポーツ委員長)

* 2015年商工会ソフトボール大会開催について

4月5日にSportsplexにてソフトボール大会を開催する。雨天の場合は、5月24日(日)に延期。申し込みはすでに完了し、今年は19チームが競い合う。3月6日にはキャプテン会議を行い、組み合わせ抽選や試合のルール決め等を行う予定。

* 第551回テキサス会「総領事杯」開催について

4月26日(日)にThe Clubs of Kingwoodにて開催予定。2月26日に当テキサス会担当のエネルギー部会が幹事会を行い、追って3月に事務局より開催案内を配信する予定。会員の皆様にはふるってのご参加とともに、賞品の寄付にもご協力くださるようお願い申し上げます。

②文化委員会(金子公亮幹事: 藤井一彦文化委員長代理)

* 商工会・日本人会共催ピクニック開催について

改修工事が終わるか課題となっていた昨年の会場について、新しいオーナーと面会し口頭ベースでは5月10日(日)に実施可能との明言を得た。従い、同日同場所にて開催することを前提に準備を開始し、3月6日(金)に第一回目の幹事会を行うべく案内をした。オーナーが変わったことによる変更点としてヘイライド、ポニーライドやベッティングズといった一切のアクティビティ及びセキュリティのサービスがなくなり個別に選定・契約する必要がでてきた。一方、使用料は大幅に削減されており、パビリオン使用料と個別契約したセキュリティ・アクティビティと合わせたTOTALコストが予算内におさまるかの確認が必要。3月頭頃には確約し、サインもできることであるが、それまでは工事が終わらないリスクが残っており、その場合は代替会場の利用もしくは開催時期の延期などを引き続き検討する。幹事会社の方々を中心に、引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いしたい。

③企画調査委員会(黒川淳二企画調査委員長)

* 「米国中間選挙と今後の米国政治の行方」講演会報告

去る1月21日にUnited Wayで開催された同講演会は、ワシントンDCより北米三菱商事上級副社長の柳原恒彦氏を講師としてお招きし、「米国政治」に焦点を当ててワシントンから見た米国政治の実情及び今後の展望についてお話いただいた。当地で事業経営に携わる当会会員にとっても大変興味深い内容であり、58名の会員にご参加いただいた。

* 4月の定期講演会について

4月15日(水)常任委員会終了後14:30より、United 航空による講演会を開催する。内容としては、航空業界の現状及び出張経費削減方法を含む各種インセンティブ・プログラム等の案内とマイルージ取得のヒント等が含まれる。出張の多い会員各位にとって非常に参考になるセミナーなので、ぜひご参集いただきたい。ご案内は3月中旬に配信予定。

④生活・情報委員会(大内裕子生活・情報委員長)

* 古本市開催について

5月2日(土)10:30~12:00に三水会センター会議室において古本市を開催する。今回は午前10時より整理券を配布し、午前中のみ開催となる。なお、三水会セン

ター図書館では古本市で販売する本や雑誌、絵本などの寄付を随時受け付けているので、ご家庭で不要となった本をぜひご寄付いただきたい。また、今回は現地校で日本語を学ぶ生徒の皆様にも役に立ていただけるよう日本語教材(辞書、漢字ドリルなど)のコーナーも設ける予定なので、これに該当する書籍等の寄付もぜひお願いしたい。売上は、前回と同じく図書館の児童向けの本の充実に使う。

10. 事務局関連事項 (小林浩子事務局長)

*安全危機管理関連報告

1月28日に総領事館にて開催された安全対策連絡協議会に当会を代表して堀田宏樹安全危機管理特命理事と事務局長が出席し、翌日その報告をメールで会員各位に配信した。また、2月2日には総領事館より新たに受信したシリア邦人拘束事案を受けた注意喚起のメールも会員各位へ回覧した。今後は、次の緊急テストランに向けて当会の対応の仕方について検討する予定。

*会員消息

本日現在の会員数は、名誉会員9名、正個人会員622名(正団体会員100社)、準会員32名で、総会員数は663名となっている。詳細については、別項「会員消息」欄参照。Nissan Chemical America Corporation社 堀賢一様ご令室の優子様が1月20日にご逝去され、当会より告別式に供花と弔電をお送りした。優子様には、生前ショーイングジャパンの活動にてご活躍いただいた。

■よろしく!~新規入会です

●正個人会員入会

- Chubu US Gas Trading LLC
- Goodman Global Group, Inc.
- INPEX CORPORATION
- JGC Energy Development (USA) Inc.
- Toshiba International Corp.
- The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

榊原正博(久美子)
山本由久 / 森大輔(茜) / 神岡勇気(理沙子)
吉阪圭一(佳美)
佐加理ジョーンズ
友田昌海(香織)
本坊修二
大森達也(あゆ美)

●配偶者登録

- Mitsubishi Corporation (Americas)
 - Chubu Electric Power Company USA Inc.
 - Chubu US Gas Trading LLC
 - Goodman Global Group, Inc.
- * 先月号の誤植を訂正しお詫び申し上げます。

小宮泰子*
森貴美子 / 安本佳乃 / 小宮京子
大滝志保 / 下保木真澄
草野智子

■さようなら!~残念ながら退会です

●正個人会員退会

- Kaneka North America LLC
- MHI Compressor International Corp.
- The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

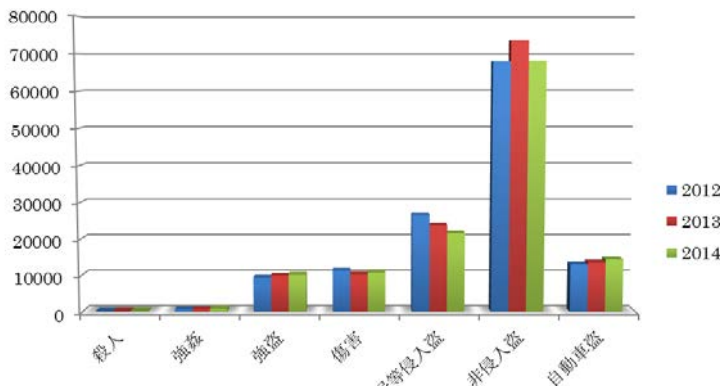
田中真人
北川忠男
渡辺崇宏



安全情報発信

FBIより発表されている2013年統計によると、テキサス、オクラホマ両州においては、殺人・重傷害、強姦、加重暴行等の凶悪犯罪の発生率が全米平均と同程度もしくはそれ以上となっており、その中でも都市部の犯罪発生率は概して高く、ヒューストンも例外ではありません。ヒューストン市警察が発表している犯罪統計によれば、2014年の犯罪集計数は約12万6000件で前年と比べると約4%の減少となっています。治安状況は安定的に推移しているとはいえ、日本に比べると犯罪発生率は遥かに高く、日頃の生活にも十分な注意が必要です。

	2012	2013	2014	対前年比(%)
殺人	217	241	243	100.83
強姦	665	618	812	131.39
強盗	9,385	9,891	10,188	103.00
傷害	11,343	10,270	10,784	105.00
住居等侵入盗	26,630	23,733	21,632	91.15
非侵入盗	67,978	73,591	68,135	92.59
自動車盗	13,070	13,595	14,455	106.33
合計	129,288	131,912	126,249	95.70



(データ:ヒューストン市警察 <http://mycity.houstontx.gov/crime/>)

※ガルフストリーム2014年9月号でも、ヒューストンの地域別治安状況などをご紹介します。併せてご覧いただければと思います。

テキサス州では州法において、他州と比べても広範な銃器等の使用が認められています。自身の財産の保護だけでなく、強姦、放火、不法侵入、強盗、夜間の窃盗、夜間の器物破壊等にも殺傷武器の使用による防護が認められており、銃器使用に係る事件が多発しています。例えば、BellaireやBlalock Road等在留邦人の方々比較的よく行く地域でも銃による事件が発生しています。これらの中には、パンクしたタイヤの交換中に銃撃される事件も含まれています。また、ヒューストンは自動車荒しが非常に多く、不在時だけでなく、給油中に反対側のドアから車内のカバン等を盗まれるケースも散見されます。

こうした犯罪を未然に防ぐためには、日頃から「自分と家族の安全は自分たちで守る」との防犯に対する基本的な心構えを持つことが肝要です。基本的には、「目立たない」、「行動のパターン化を避ける(行動を予知されない)」、「用心を怠らない」ことを心がけてください。また、家では鍵をしっかりかける、近隣住民とのコミュニケーションを取るといったことも重要です。車を離れる際には、短時間できちんと鍵をかける、財布、パスポート、その他貴重品を車内に残さない、外から見える場所に物を置かないようご注意ください。

本年1月、シリアにおいて邦人が拘束、殺害される事件が発生し、イスラム過激組織のISILを名乗る人物が、日本人に危害を加える可能性についても言及しています。昨今のISILに賛同しているとみられる者による世界各地でのテロの多発等を踏まえれば、在留邦人の方々テロを含む様々な事件に巻き込まれる危険がないとは言えません。すでに総領事館と商工会は協力して安全対策の強化に向けた情報交換を進めています。①危ない場所・時間帯を避ける ②周囲の不審者・不審物に注意を払う ③万が一に備える ことを心がけてください。

また、ヒューストン市警察ホームページ内の各警察署案内(<http://www.houston.tx.gov/police/substations>)を確認し、お住まいの最寄りの警察署の連絡先を把握しておく、いざという時に役立ちます。緊急時には911(警察・救急・消防)に連絡をすればよいですが、緊急とはいえないものの何か不安なことがあった場合や、警察に対して助言を求めたい場合には、各管轄警察に連絡をした方がスムーズな対応を期待できると思われます。

これらの留意点から自然災害への対応まで様々な基礎情報について、在ヒューストン日本国総領事館は「安全の手引き」をホームページに掲載しています(<http://www.houston.us.emb-japan.go.jp>)。早い段階でご一読・ご参照ください。新しくテキサス州・オクラホマ州に来られた皆様は在留届も忘れずにご提出ください(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>)。また、いざという時の安全情報を含め総領事館からお知らせメールを配信しています。電子メールアドレスは総領事館ホームページから登録いただけますのでご利用ください。

当地での生活に慣れてくると、つい「大して危険じゃない」と思いがちになってしまいますが、それが危ない領域に足を踏み入れる瞬間です。安全な毎日を過ごすためにも、日頃から防犯に対し十分留意するようにしましょう。

ヒューストン 日本語補習校 教員 募集中



河島通子 先生

勤務年数: 31年
ビザの種類: 米国民

今年で43年を迎えるヒューストン日本語補習校では、今後児童生徒の増加が見込まれるため、現在教員を募集中です。

現場の教員の方に登場していただき、職場としての補習校について、教員の立場からの体験や思いをお伝えしてまいります。これを読んで、ひとりでも多くの魅力ある先生が仲間に加わってくだされば幸いです。第5回目は、河島通子先生にお聞きしました。

Q. 補習校に勤められたきっかけはどのようなことですか？

A. 1982年に当時のPTA会長に薦められたと共に、娘に自分の母国語を将来理解してもらうため、補習校にいずれ通わせたいと思った。人に教えるということは、それ以上に自分自身が勉強をしなければならぬので、勉強をし直す良い契機かと思った。

Q. どのような教員になりたいと思っていますか？

A. 生徒の目線の高さで物が考えられる教員を目指す。ただ教科を教えることだけではなく、様々な場面で問題解決を生徒と共に考えていける冷静、沈着な態度を持てる教員。学習とは、自発的、主体的に行われるものであり、教員は生徒たちに対する良き水先案内人であると同時に、良き相談相手とならなければいけない。

Q. 現在、何を教えていらっしゃいますか？

A. 高等部担任をしており、教科は国語、国語I、国語II、表現の教鞭を執っている。

Q. 補習校で勤務を始めて、期待どおりだったことと意外だったことは何ですか？

A. 全日制と同じカリキュラムではなく、週1回の授業用にカリキュラムを組直すことが必要であり、それに伴う指導案を作成するのに時間を要すること等は最初からわかっていました。



実際教壇に立ち毎週直面することとなると、慣れる迄は相当な時間を費やすことは予測されたが正にそうで、週日の自宅での仕事量がかかなりあることがわかった。

女性教員が多い中、一度も派遣校長が女性でないことが現在でも意外だと感じるところである。

Q. 補習校での、教員としてのやりがいや喜びを感じた経験を教えてください。

A. 卒業した教え子が家庭を持ち、子供を連れて教室を訪ねて来てくれ、自分の子供も是非補習校に通わせたいと真顔で話してくれる姿を見るときに喜びを感じる。週に1度の登校でも生徒同士の付き合いは希薄にならず、日本での友達以上に親密なものとなり家族同士の付き合いに迄発展していくことが多い。多くの家庭環境が似通っており、補習校が日本語の通じる貴重なコミュニティとなっていることなど、多数の条件が重なる中、条件さえ整えば週1日の登校でも十分な教育効果を施せるという驚きと喜びがある。

日本に帰省する度、多数の生徒が時間をやり繰りして集まってくれ元気な顔を見せてくれる。昨年の11月帰省した時には総勢18人もOBが集まってくれ、現在大学生となり、目に見張る成長を遂げた教え子と一緒に会話を交え、食事を楽しみながらその成長度を近くから確かめることができることに喜びを感じる。

Q. 補習校で大変だったことを教えてください。また、それをどのようにして乗り越えましたか？

A. 週1回という短期集中型の授業形態の中で文部科学省の学習指導要領に定められた目標の達成を目指すことが毎週自分に与えられる最大の難関である。息子の出産がたまたま土曜日の朝5時で、当時3学期制で学期の1日目に欠勤をしなければならないと、病院から校長宅に急遽一報を入れたときが一番大変だった。準備はしてあり、伴侶に教科書等一式を補習校に届ける指示を出したが、代講の先生が3時間以内で見つかるかどうか不安だった。代講を急に探すのは大変であるし、出産は病気ではないので翌週から出勤して教壇に立った。

Q. これから応募される方へのメッセージをお願いします。

A. 無駄な経験は絶対に無い。どんな経験も将来無駄になることは絶対にありえない。つまり、意味のない経験は考えられない。何事もチャレンジし前向きに捉えて、努力すれば道は開けると思う。

駐妻のヒューストン日記

「田舎暮らしも楽しい!？」
第126回 藤原智子 さん

私は、昨年8月に主人の転勤に伴ってウッドランズに来ました。ヒューストンの北側から車で3-40分ほどの町です。学生時代にニューヨーク州に2年ほど住んだことはありますが、結婚してからアメリカに来たことはなく、ほとんど15年ぶりの渡米です。

一足先に来ていた主人からは、「軽井沢のようなところ」と言われ、テキサスの軽井沢!???と思いつつ、娘の小学校の下見に5月のゴールデンウィークにテキサスに来ました。でも、そこでみたウッドランズは、目の覚めるような空の下、快晴の日々が続き、既にジリジリと強い日差しが差し込んでいました。とにかく広く、平らな地面が続くテキサスの風景に圧倒されました。主人には申し訳ないのですが、緑は多いものの、どこか乾いた空気感を感じるこの地は、はじめ、軽井沢には見えませんでした・・(笑)。5月にこの暑さで、夏はいったいどうなってしまうだろうと不安に思ったことを懐かしく思い出します。

娘の小学校入学に合わせ、8月からこちらに住み始めましたが、正直はじめの2か月くらいは、仕事を辞め、東京の友人と離れてしまったこともあり、日本が恋しくて仕方ありませんでした。とにかくきちんとしたお風呂に入りたくて、山や海が見たくて、美味しいお米が食べたくて、ちょっと落ち込む日々もありました。

でも、そんな中でも、娘と同じ学校に通うお母さんた

ちははじめとしてだんだんと交流が増え始めて、スーパーで欲しいものが見つからずに歩き回ることも減り、美味しいレストランを見つけて外に出れるようになってから、段々と私もリラックスできるようになってきました。本当に下手くそなのにゴルフに誘って頂いたり、そんなことも嬉しく、ちょっとずつ生活が回転してきました。

そして、あらためて見たウッドランズの風景。あれれ・・・!? 軽井沢に見えるではありませんか。緑がいっぱいで、湖があり、サギやアヒルなど沢山の鳥が飛び交っています。自宅の近くの小さな池には、魚や亀やアメンボがいて、リスが走り回っています。朝は数匹で草を食んでいるシカを時々見ることが出来ます。広い空は色々な表情を見せ、夕方はグラデーションの綺麗な赤色、夜は沢山の星を楽しめます。余裕が無くて、見えるものも見えていなかっただけのようです。

ウッドランズが軽井沢に見えるようになってから、プライベートもだんだん楽しくなってきました。田舎ですので、娯楽施設はほとんどありません。あるもので楽しむ!が今のテーマです。

先日は、近所で子供の年齢も近い仲間の中で、重曹と一緒にパスタをゆでることでラーメンや焼きそばがつくれるらしいという、話になり、「じゃあ、作ってみよう!」と重曹でつくった焼きそばでモダン焼きをつくる会をやりました。日本食専門スーパーがないウッ

ドラズならではの会です。関西出身の粉もんプロフェッショナル(!?)Tさんのお宅で、キャベツを切ったものやら、デザートやら持ち寄って集まりました。

結果は、すごいです!本当にラーメンの味になりますよ!少し細めのパスタでやったほうが良さそうです。焼きそばもとても美味しく子供たちもペロリ。こうして、ないならないなりに楽しむ術ってあるものなのですね!

モノやサービスに溢れる東京とは一味違った暮らし。よく考えてみれば、こんな暮らしも駐在妻でなければなかなかできないものです。数年この地に住むことになるのでしょうか。モノのない暮らしと自然をこれからも存分に楽しんでいきたいと思えます。





在ヒューストン日本国総領事館・日米協会共催
2015年 Bento コンテスト 決勝戦



2月22日(日)、在ヒューストン日本国総領事館は、ヒューストン日米協会(JASH)との共催で、2015年ヒューストン Bentoコンテストの決勝戦を、I-10沿いにあるH-E-B・Bunker Hill店にて開催しました。4回目を迎える今回は、第一次の写真審査を通過した小学生2人を含む5人が、Bento作りの腕を競い合いました。

審査員の一人として出席した岩崎敏志首席領事は、冒頭挨拶の中で、「日本人の家族をつなぐ絆のひとつとなっているお弁当は、日本の日常生活の中に様々な形で根付いており、お弁当を知ることは日本の文化を知ることにつながる」と述べました。

5人の決勝戦参加者たちは、制限時間10分間で、テーブルの上に並べられたH-E-Bの様々な食材でお弁当を作りました。

終了後、株式会社サタケの直木純二郎社長、Gondo社のグレン・ゴンドー氏、JASH次期会長のビル・ウェイランド氏、H-E-Bコミュニティルームマネージャーのアンジェラ・ロブレス氏、岩崎首席領事の5人が、力のこもった5つのBentoの審査に臨みました。接戦の末、第4回Bentoコンテストの優勝は、Junko Janvierさんと決まりました。

また、審査結果を待つ間、ヘリング小松倫子先生により、「うま味」について講演が行われました。「うま味」は、「甘味・塩味・酸味・苦味」の4つの基本の味覚に加え、日本で最初に認知された第五の味覚です。講演の後半には、来場者が味覚テストに参加して味の違いを実感しました。続いて、来場者はヘリング先生の作ったうま味調味料を炊き込んだ「うま味ご飯」や、サタケから提供いただいた新米で、実際に自分でおにぎりを作って試食しました。

4年目のBentoコンテストは、うま味をテーマにした講演にちなんで、日本のうま味メーカーの代表である味の素株式会社とヤマサ醤油株式会社から試供品をご提供いただき、来場者に日本のうま味をご家庭へ持ち帰っていただきました。

コンテスト開催にご協力いただいたH-E-B、H-E-B.Sushiya、株式会社サタケ、グレン・ゴンドー氏、味の素株式会社、ヤマサ醤油株式会社に感謝いたします。

今回の決勝戦の参加者は、以下の方々です。
 Josiah Ho: Most Healthy
 Yuko Ouchi: Most Delicious
 Runa Katayama: Most Traditional
 Sayaka Stephens: Most Creative
 Junko Janvier: Most Comical



＜うま味ご飯＞

- 材料●
- お米 2カップ
- 昆布 10g程 (10cm四方くらい)
- 水 2カップ少々
- 醤油 大匙1



●作り方●

1. 昆布を一晩水に浸しておく。(1を省略する場合は、3で昆布と一緒に浸水させ、昆布を入れたまま炊く。)
2. お米を研ぐ。
3. 2に、1の昆布だしと醤油を入れて、最低10分(できれば30分)お米を浸水させる。(水が足りない場合は、必要分を加える。)
4. 炊く。

※海苔、胡麻があれば、更にカルシウムやミネラル等も摂れ、具沢山なおみおつけがあれば簡単な食事が整います。動物性たんぱく質が必要なら、鰹節やじゃこを混ぜたり、卵を添えるなどで調整しましょう。ぬか漬けもあればビタミンB群や酵素も摂れ、緑茶と一緒にいただければビタミンCも補給できます。



会社紹介



IINO LINES (U.S.A.) INC.

安齋 容一郎 さん

写真右側が安齋さん

1. 会社の業務内容等について

IINO LINES (U.S.A.) INC. は、東京に本社がある飯野海運株式会社の100%子会社です。昨年の12月にやっとGALLERIA地区に事務所をオープンしたばかりです。飯野海運は主に原油や石炭それにLNGなどのエネルギー物資や石油化学製品を船で輸送することを本業としていますので一般の方々にはあまりご存知無いと思います。むしろ会社の一部門である不動産部が運営している東京の日比谷公園前にあるイノビルとその中にあって落語や映画の試写会を時々やっているイノホールの方が知名度が高いようです。そのような飯野海運の米国子会社である我社の業務は、シェールガスやシェールオイルを原料として生産される石油製品や化学品の新しい輸送需要を発掘することです。多くの方々とお会いして、液体であろうが固体であろうが、はたまたガス体であろうが、米国から輸出される物、そして米国に輸入される物に関する情報を収集する毎日です。

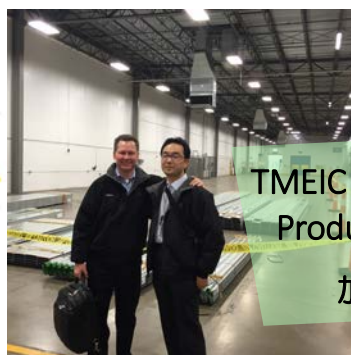
2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

何となくのんびりしていますよね。東京やニューヨークとは生活のテンポが違いゆったりしている気がします。東京と時差が15時間もあって東京のペースに巻き込まれないというのが理由かもしれません。仕事上の課題にじっくり取り組めるような気がします(そうかと言って何も大したことが出来ていませんが)。

食事に関してはステーキが大きすぎる嫌いがありますが味は大変美味しいと思いますし、海外の都市としてはバリエーションも豊富でまあまあレベルだと思っています。これに美味しいラーメン、日本そば、それに鰻重が加われば最高レベルになるんじゃないですか(日本人的発想ですみません)。忘れてならないものにスポーツ観戦がありますね。アメリカンフットボール、バスケットボール、野球と一流選手が目の前でプレーをするのを観る機会が数多くあります。これらにのめり込んで心の底から応援する気持ちになればもっとヒューストンライフをエンジョイできるようになるのでしょうね。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

趣味はこちらではゴルフを堪能しています。今まで駐在したことがあるコネチカット・ドバイ・シンガポールもゴルフ環境の良い所でしたが、その中ではヒューストンが一番だと思います。車で同じ40分圏内でも北部の林間コースと南部のリンクスコースではまったく性格が違いますね。いずれは何処かのプライベートコースのメンバーになるつもりですが、どのコースも素晴らしく目移りがして決められずに半年が経ってしまいました。



祝 商工会加入 100社到達

TMEIC Power Electronics Products Corporation

加藤 義人 さん

1. 会社の業務内容等について

親会社は、東芝三菱電機産業システム株式会社(略称: TMEIC (呼称はティーマイク))で2003年に東芝と三菱電機そしてGEが出資する合弁会社として、スタートしました(現在は東芝と三菱電機の出資のみ)。モータドライブ事業は、アジア・北米を含め幅広く展開し、ヒューストンにも弊社とは別に米国法人の営業所があります(商工会にも入会)。

弊社は、その北米製造拠点として、2014年に設立され、同年秋よりMr.James F. Trexel社長と共に2人で、まさに裸一貫から、東芝インターナショナル米国社様の工場内に第一号製造ラインを立ち上げるべく奮闘しています。

取扱う製品は、電動機を駆動するためのパワーエレクトロニクス製品や太陽光発電において電力変換を行う同製品等を計画しています。ご存じのように、北米では、シェールガスの発掘を中心にオイル・ガス産業が盛んで、ポンプ等に適用されるモータ駆動用ドライブの需要は堅調に推移すると予想されています。また米国は、太陽光発電用パワーコンディショナにおいて世界3位の市場規模を有し、特にメガソーラ(1,000kW以上大規模太陽光発電施設)に適用されるパワーコンディショナの需要は今後も期待される市場です。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

ありきたりですが、ここにある全てが“大きい”。その言葉では物足りず、“デカイ”という言葉がぴったり。人も食材も車も家も。日本より、小さいと感じるモノが思い当たりません。I-10を車で走っていても大きな国旗が美しく風にたなびき、日本では国・州(いわゆる自国・地元)を意識する機会が少ないので、あちこちで見られる国旗やローンスターは家族の目にも新鮮に映っているようです。

また赴任当初は、“大ざっぱ”な街でのサービスや商品の取り扱い方などに不平不満・がっかり・イライラしたことも多かったのですが、今では半分悟りを開き(諦め?!)、「そんなものだな。」と家族も自分も寛大になる余裕が少しずつ生まれ始めました。我々の心の持ちようも“大きく”なり、人間として成長したのかもしれない。赴任してから、皆さんからお気遣いいただき助けられる場面も多いのですが、米国という土地が育んだその寛大さと皆さんの日本人としての思いやりの精神が見事に融合した産物だとわかってきました。皆さんと出会え、そして異文化の中で生活を共にできる「海外赴任」を通じ、日本っていいなとも思えたことは今後の財産となるでしょう。

それともう一つ。反対に学校の対応は“きめ細やか”で驚きました。イベントも多く、また学校の様子や宿題・試験などの予定も様々な手段を通じ、家庭に連絡され、それが赴任当初の親にはストレスになるのではないかと思うほど(家ではパソコンとは向き合いたくない私には...)。歴史の授業も、アメリカ史の内容が細かいですね。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

スポーツ全般の観戦が趣味です。バスケット、野球観戦は是非行ってみたいと思っています。特にプレーするのも見るのも好きなのは、ゴルフです。赴任して半年近く経ちますが、一度もプレーできていないのは誤算でした(汗)。ようやく落ち着き始めてきたので、子供達を連れ、練習再開、コース参戦したいと思います。

スポーツ以外では、この広い夜空を眺めビール片手に星を観察しながら一杯飲めたら最高でしょう。まとまった休みが取れたら、家族と共に米国に点在するナショナルパークを巡りながら一杯できれば、なお最高!です。



2015年 商工会 ソフトボール大会 チーム紹介

4月6日開催のソフトボール大会には、昨年より1チーム多い19チームが参戦します。3月6日にはキャプテン会議が開催され、日増しに盛り上がる中、各チームからコメントをいただきました。



チーム名	昨年成績/チーム母体	コメント
住友ダッシュ	優勝 米国住友商事	昨年は熱い声援により優勝できました。新メンバーも加入し、心機一転、昨年以上のチームを目指し練習中です。
イーグルス	準優勝 企業横断チーム	仕事、学業第一のモットーの元、一戦一戦を楽しみながら着実にこなしていきたいと思えます。まずは予選リーグ勝ち抜けを目指します。
三菱 Red Diamonds	3位(2013B4) 三菱商事	2年連続準決勝で涙を飲んできました。今年こそは悲願の決勝進出&優勝目指してがんばります!!
アストロズ	4位(2012優勝、13準優勝) 企業横断チーム	直近5年で優勝1回、準優勝2回だが、有力選手の帰国が続き、男性8名、女性2名へ戦力ダウン(2月末時点)。予選は勝ち上がりた。
双日パッションズ	ベスト8(2012準優勝) 双日	旧メイズから改名しました。人員増加に伴い実力も大幅にup(と思います)。名前どおり熱い思いをソフトボールにぶつけます、火傷に注意。
JAXA ダイナポアーズ	ベスト8(2012B4) JAXA	モットーは「楽しく全員ソフト」。10代の若手の成長が著しく活力を与えてくれています。まずは一勝目指して基礎力向上中です。
コメッツ	ベスト8 サタケ	昨年は準々決勝で優勝チームにジャンケン敗退。今年は、ジャンケンを含めた「勝負強さ」と「女性メンバー」に力を入れ、優勝を狙います!
FC Japan	ベスト8 企業横断チーム	2003年に創立したサッカークラブ。ソフトボールでは勤務先チームには目もくれぬバカどもの集団です。俊足をいかし2回目の優勝を目指す。
ロードランナーズ	予選L敗退(2012B4、13優勝) 企業横断チーム	若手からシニアまでいろんな職種のメンバーで、楽しくおかしく練習しています。スーパー中学生も2年前から加わり、決勝T進出を目指す。
三井マリガンズ	予選L敗退(2013B4) 三井物産	毎年戦力の変動が激しい中、主戦力が事務局に取られるハンデを負いつつ、奇跡を信じ、2年振りの予選勝利を目指します。
レッドドラゴンズ	予選L敗退 企業横断チーム	変遷を経て11回目出場。居酒屋わ、NOAC(システム開発)、Wismettac(食品卸)、IMP(鮮魚卸)、Chevron等から楽しいメンバーが集まっています。
ハリケーンズ	予選L敗退 Nippon Restaurantと常連客	常連客のヤンキース黒田・田中選手にもオファーしたものの、日程の調整がつかず、補強に失敗。最低でも決勝T進出を目指します。
サンボーニャ	予選L敗退 伊藤忠グループ等	他企業様及び伊藤忠グループ企業で構成するチームです。万年予選敗退を脱却すべく一生懸命練習中で、その成果が楽しみです。
カネカ	予選L敗退 カネカ	昨年の悔し涙をばねに、例年より早い時期から練習を開始。主力2名が抜けましたが、今年も全員ソフトボールで上位進出へ闘い抜きます。
丸紅VT	予選L敗退 丸紅	丸紅タイ料理好き有志のチーム。練習試合2戦全焼?の勢いを駆り優勝を目指す。昨年の4番はTakoxansへ移籍したものの新戦力に期待!!
Clear Lake United	予選L敗退 企業横断チーム	主力の帰任で大幅な戦力ダウンがある一方、甲子園経験者を含む新メンバーも加わりました。日頃のべーランを活かし、まずは一勝!
Utilities	予選L敗退 中部電力	「ママ〜、にじゅういたいぜろだつてー」大敗から1年。彼らが戦いの場所に帰ってくる。新戦力ジョニー、クワンのW巨砲が火を噴くぜ。
東芝	予選L敗退 東芝	昨年は予選1勝1敗で涙をのみました。若手が少ないのが悩みですが、勝負どころであと1本が出るよう鍛えて予選突破を目指します。
Osaka Takoxans	初出場 Osaka Gas USA	Osaka Gas USA社員・家族で今年結成し、2月より毎週末練習を重ねています。大阪らしく「明るく楽しく笑いの取れるプレー」を目指します!



ヒューストンの姉妹都市対抗サッカー大会が1/31 & 2/7に開催されました。

初日は4チームずつ2リーグに分かれての予選。翌週に予選各リーグ上位2チームによる決勝トーナメントが行われました。

千葉市代表として出場したFC Japanは、スペイン、トルコ、メキシコと同じグループに入りました。W杯の強豪国揃いで1勝もできないのではとの不安もありましたが、見事予選を1位で突破しました。

【予選リーグ】

第1試合(vs. スペイン)

お互い朝一番の試合ということもあり、集中力に欠く乱打戦の試合となりましたが、4-3で勝利。

第2試合(vs. トルコ)

体もほどよくあったまっております、双方ともにパスサッカーを展開。唯一とっていい決定機を決め、なんとか逃げ切り。1-0で勝利。

第3試合(vs. メキシコ)

メキシコチームの人数不足により、不戦勝。

【決勝トーナメント】

準決勝(vs. U.A.E.)

日本代表がアジアカップで敗れたUAEが準決勝の相手。絶対に負けない戦いを合言葉に体をはったFC Japanのメンバー。点を取っては取り返されといった一進一退の攻防でしたが、辛くも3-2で勝利。アジアカップの借りをここヒューストンで返しました!!



決勝(vs. エジプト)

決勝はエジプトとの一戦。エジプトは背番号5番を中心にまとっており、非常にアグレッシブなサッカーを繰り広げる強敵。試合開始から防戦一方も、なんとかゴールは死守。しかし、前半残り5分に一瞬の隙をつかれ先制点を許し、追いかける試合展開に。後半に入り、相手5番をおさえるべくマン

マークの作戦に出たFC Japan。作戦が功を奏し、相手の攻撃の芽を摘み反撃に転じるもゴールを決めきれず。終了間際にエジプトチームのシュートが味方にあたり、コースがかわるという不運なゴールを奪われジ・エンド。0-2で敗れました。

初出場で準優勝という成績は立派ですが、やはりプレーしていたメンバーからは「悔しい!!」「無念!!」「リベンジだ!!」といった声が聞かれました。

最後になりましたが、応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。来年は優勝を目指してがんばります。周りにサッカー経験者やサッカーをやりたい方がいらっしやいましたら、ぜひ一緒にプレーしましょう。





喘息について (第3回)

Center for Allergy and Asthma of Texas
米国アレルギー免疫専門医
小川リール好子

1、2月号に引き続き、喘息について3月も書いて参りますが、今月で一旦喘息については最終回とします。1月号のクイズを繰り返し掲載します。

1. 私は夜中や運動後、あるいはネコの近くにいとよくせきをするのですが、ゼイゼイヒューヒュー呼吸の音がしたことはありません。よってこれは喘息ではありません。
2. うちの子はまだ小さいので喘息がありますが、成長して大きくなれば治ると思います。
3. 発作時に使用するインヘーラーは毎日使用して、喘息の症状が出ないように予防しています。

1月号ではゼイゼイヒューヒューとした呼吸困難でなくとも、咳がメインの喘息もあることをご紹介しました。よって1. は×、間違いです。2月号では小児喘息が根本的に完治することは例外的であることをご紹介しましたので、2.も×、間違いです。

今月は、質問3.について、小児喘息の管理に関して書いていきます。発作時に使用するインヘーラーは短時間作用型ベータ2作動薬という種類の薬で、狭くなった気道を拡張する効果があります。日本ではサルブタモール(サルタノール、ベネトリン)、

プロカテロール(メブチン)など、アメリカではAlbuterol (ProAir、Ventolin, Proventil)、Levalbuterol (Xopenex)などが挙げられます。使用を繰り返していると数週間くらいで薬効が落ちて来ます。この現象をタキフィラキシーと呼びます。気道の拡張の作用が落ち、また効果が持続する時間が短くなります。ですので、インヘーラーは症状が出たときのみを使うことが大切です。発作時用インヘーラーは、医師から特に指示がなければ、必要がなければ使わないほうがよいのです。ですから、上記の質問3. の答えも×になります。では何回まで使っていれば様子を観察をしてもよくて、何回以上使っているとか何かアクションを起こしたほうがいいのか、つまり医療機関を受診したほうがよいのでしょうか。これは1月号で少し触れましたが、週に2回以上症状が出る場合は、医師と相談して、喘息の管理方法を見直す必要があります。



現在アメリカでは約2500万人の喘息患者さんが存在し、このうち700万人は小児の患者とされています。更にこのうち約半分の1300万人の喘息患者さんが喘息発作を年に1回は経験していると報告したという統計があります。厚生労働省の統計では日本に450万人の喘息患者さんが存在し、増加し続けています。社会に与えるインパクトは今後も更に大きくなっていくことが予想されます。ですが、同時に適切な診断や管理でコントロールできることが多い疾患でもあります。このコラムの内容が、喘息患者さんやそのご家族、ご同僚など、コミュニティーに少しでも届けば嬉しく思います。

ピーカンキッズ活動報告

暦の上では春とは言え、まだまだ肌寒い2月3日と14日にあそぼーかいが開催されました。今回は「節分」がテーマです。冒頭の挨拶では「節分では何をまくかな？」の質問に、ちびっ子たちは「お豆。」と元気よく答えてくれました。豆まきは、家の中にある悪い事(鬼)を追い出し、良い事(福)を招き入れて、一年間良い年でありますようにという願いを込めて行われている事や、まいた豆は歳の数しか食べられないから、みんなは物足りないかななどと、トラおくん、トラ子ちゃんと一緒に話しました。

続いて、パネルシアター「せつぶん」では、どうして炒った豆をまくようになったのか、昔から伝えられているお話をしました。

パネルシアターは、今回初めての試みでしたが、パネル上で紙人形が動き回り、ちょっとした仕掛けもあるので、ちびっ子達は集中して聞いてくれました。

今月の歌「まめまき」を、みんなで大きな声で歌っていると、ドンドンとドアを叩く音。すると「悪い子はいないか!!」と、ちょっと怖そうな赤鬼と青鬼がやってきました。びっくりするちびっ子もいましたが、スタッフの「みんなを驚かせた悪い鬼たちを退治しよう!」のかけ声に、豆まきが始まりました。「鬼はそと!福はうち!」と大きな声で言いながら、豆の代わりにボールを投げました。たくさんのボールをぶつけられ、鬼さんはあっという間に降参してしまいました。みんなで仲直りしたところで、一緒に「オニのパンツ」の歌に合わせて身体あそびをしました。お母さんもスタッフもキッズルームに居る全員で、歌詞に合わせた振りで身体を動かし、キッズルームはあっという間に熱気でポカポカになりました。お誕生会の後、工作では鬼のお面のぬりえをしました。あそぼーかいに来た鬼さんは、赤と青

でしたがみんなの鬼のお面は、いろいろな色の鬼がいてカラフルでしたね。

今月のあそぼーかいも、楽しんでいただけでしょうか。来月も盛りだくさんの企画で、みなさんをお待ちしておりますので、どうぞお友達を誘って遊びにいらして下さい。

ピーカンキッズ今後の開催予定

- <あそぼーかい>
- 4月10日(金) 10時00分～
 - 4月11日(土) 9時30分～
 - 5月5日(木) 10時30分～
 - 5月9日(土) 9時30分～
 - 6月7月8月はお休み



<読み聞かせの会>

- 4月18日(土)
- 9時30分～ 三歳以上を対象とした絵本
- 10時00分～ 三歳未満を対象とした絵本
- 5月2日(土) 9時30分～
- 乳幼児から就学前のお子さんを対象とした絵本(古本市のため一回のみの開催になります)
- 6月7月8月はお休み

変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやヒューズトンナビでもご確認ください。スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい mama.asobokai@gmail.com
読み聞かせの会 houstonyomikikase@yahoo.co.jp





編集委員会では医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康に関する話、メディカルセンターの様子などを連載記事としてご紹介しています。
前回の竹内尚史先生から消化器外科(大腸)がご専門の大塚正久先生にバトンが移りました。

第125回

下血 ～消化管からの訴え～

MD Anderson Cancer Center Post-doctoral Fellow 大塚正久



はじめまして。大阪大学 消化器外科より現在MD Anderson Cancer Centerに留学中の大塚正久と申します。こちらでは医師としての診療は行っておらず、専ら基礎研究を行っております。今回、どのようなテーマで寄稿させていただこうかと考えた際に、現在行っている研究についてはマニアックすぎる部分があるので、日本で従事してきた消化器外科医の視点から消化器疾患について書かせていただくことにいたしました。ただ、先輩方の寄稿一覧を見ておきますと、専門としておりました“大腸癌”については多くの先生が書かれておられたので、臨床的に非常に重要な兆候である“下血”をテーマとして書かせていただきます。

～下血とは？～

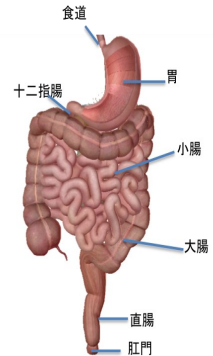
まず“下血”とはどのような兆候をさすのでしょうか？
一般的に下血には広義の下血と狭義の下血とがあります。広義の下血とは、全消化管からの出血が何らかの形で肛門より排出されることを指します。つまり、上部消化管(食道・胃・十二指腸)からの出血と下部消化管(小腸・大腸・肛門)の出血両者を含みます。一方、狭義の下血は上部消化管からの出血が肛門より排出されることをさし、下部消化管からの出血は“血便”と定義します。以下、狭義の下血を“下血”とし“血便”比較しながら話を進めていきます。

～症状・原因疾患～

下血は“タール便”と称され、いわゆる“コールタール”のような黒色を呈しています。これは、上部消化管である胃には強力な胃酸があるため、酸化された血液中の鉄分が黒く見えるためです。一方、血便は胃酸の影響を受けないため一般的には赤い色を呈します。口に近い大腸や小腸からの出血では褐色を帯びていることもあります。直腸や肛門といった出口に近い部位からの出血では鮮やかな赤色を呈します。
随伴する症状は、それぞれの基礎疾患によって異なってきます。例えば“胃潰瘍”からの出血による場合には、下血とともに吐血(口から血液を吐くこと)を伴ったり、急激に血液を失うことによる“ショック”と呼ばれる重篤な症状を呈することもあります。一方、腫瘍などによる下血、血便の場合には大きな症状を伴わない場合もあります。

<原因疾患>

下血の原因となる疾患	血便の原因となる疾患
胃潰瘍・十二指腸潰瘍	痔核・裂肛
食道静脈瘤・胃静脈瘤	大腸憩室症
マロリーワイス症候群(食道の裂傷)	大腸炎(出血性、薬剤性など)
出血性胃炎	炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)
胃癌、食道癌、十二指腸腫瘍	大腸癌、小腸腫瘍



～診断・治療～

下血、血便の場合には、やはり上部消化管内視鏡(胃カメラ)や下部消化管内視鏡(大腸ファイバー)といった内視鏡検査が診断・治療の中心となります。出血量が多く、血圧が下がるような場合には緊急に内視鏡検査を施行し、原因検索とともに治療を行う必要があります。緊急性が無い場合であっても、出来るだけ早期に内視鏡検査を受け原因を究明しなければなりません。内視鏡検査による所見が再度の出血の防止と悪性腫瘍による出血であった場合の重要な情報源となります。その他、特殊なケースとしては、大腸憩室からの出血からの場合には放射線医による治療が必要になることもありますし、内視鏡治療などで出血が止まらない場合には緊急手術による止血が必要になることもあります。
また、診断するにあたっては患者さんの既往歴(これまでまたは今かかっている病気についての情報)や嗜好歴(喫煙歴や飲酒歴など)といった背景も非常に重要になってきます。例えば、肝臓疾患(B・C型慢性肝炎・肝硬変、アルコール性肝炎・肝硬変など)をお持ちの患者さんが下血でこられた場合には、食道・胃静脈瘤を一番に考え上部内視鏡での診断・治療を開始しますし、若年で以前より繰り返す腹痛・下痢等の症状を呈しておられた患者さんの場合には、炎症性腸疾患などを鑑別疾患として考え診療にあたります。このように、下血に対する診断・治療には検査所見のみならず、症状・背景を含めた総合的な判断が非常に大事となります。

～最後に～

これまで述べてきましたように、“下血”は消化管からの重要な訴えです。人間生活の基本となる消化管に何らかの傷害が起きている重要な兆候です。やはり、お尻から血が出たというのは私を含めて全ての方にとって抵抗があり、なかなか医師にも相談しにくいかもしれません。特に血便の場合には、痔や裂肛といった良性疾患が原因のことが多いのが事実です。しかし、急激な症状がある場合はもちろんですが、症状が続く場合には、ご自身で判断されるのではなく、症状の悪化を防ぎ原因疾患を突き止めるために積極的に専門医の判断を仰ぐことをお勧めします。また、現在広く行われている検便による“便潜血検査”は字の如く、潜んだ血つまり目には見えない“下血”を検出する重要な検査です。便潜血陽性の結果、精密検査にて大腸癌と診断される人は0.1~3%ですが約半数が早期癌で見つかっています。“消化管からの訴え”をいち早く検知し、早期であれば治癒する癌である大腸癌を見つける検査としては是非皆様には受けていただきたい検査であると考えます。
最後となりますが、この記事を通じて皆様に“下血”にとどまらず何らかの体からの訴えに目をむけていただき、ご自身の健康についてご一考いただくきっかけになれば幸いです。

次回は、消化器外科がご専門の田上聖徳先生です。以前に同じラボで大変お世話になった喜多芳昭先生と同じく、鹿児島大学消化器外科より来られた田上聖徳先生をご紹介させていただきます。先生はお酒と音楽を愛しておられ、一緒にライブに行った際に先生の音楽に対する豊富な知識に驚愕した事を覚えております。研究・臨床にも深い造詣をお持ちの先生であり、次の寄稿をお願いしました。

ワン!ダフル ヒューストン

川原志津香 (家庭犬しつけインストラクター)

Vol. 26

「プロジェクト・ペット」



絵のクラスの当日、キャンパスには犬の「下絵」がプリント済み



我が家の「長女」シャーリの肖像画

「Paint. Drink. Have Fun.」(絵を描き、飲みながら、楽しもう)を謳い文句にして絵を描くクラスを開催するPinot's Paletteというスタジオがあります。テキサスに17カ所あり、そのうちの6カ所はヒューストン近郊にあります。クラスといっても、習い事のように毎週通うものではなく、Pinot's Paletteのカレンダーで気に入った絵を見つけて申し込み、単発のクラスに参加してインストラクターに教えてもらいながら参加者全員が同じ絵を描くというものです。クラス終了後、自分で描いた絵を自宅に持ち帰るのですが、友達同士やカップルと一緒に絵を描いて楽しみ、自宅で作品を飾ってまた楽しむというこのスタイルが好評で、わたしも友人から誘われたり、勧められたりしてその存在を知りました。

もともと、「絵心がある」とはとても言えば、絵を描いて飾るよりは、写真を撮って飾る方が好きだったので、友人から絵を描くクラスがあると話を聞いても、すぐには飛びつかなかったのですが、ウェブサイトを眺めていて、「プロジェクト・ペット」というテーマの日があることに気がつきました。通常は、クラス参加者が全員同じ絵を描くのですが、「プロジェクト・ペット」の日は、それぞれの参加者が自分のペットを描くというのです。実際のクラス参加者の集合写真を見てみると、犬を描く人が大多数でしたが、中には猫を描いた人、インコを描いた人などでもいて、また背景やペットのポーズも人それぞれでとても個性的でした。なにより、自分のペットの「肖像画」を自宅に飾ることができるということにも魅力を感じました。

それでも、絵の具を扱うのは小学生のとき以来ぐらいですし、キャンパスに絵を描いたこともないので、大事な「我が子」の絵を描こうとして失敗作になっては悲しいと申し込みをためらっていたところ、参加したことがある友人のひとりが、有力な情報を教えてくれました。「プロジェクト・ペット」の場合は、事前にそれぞれのペットの写真をスタジオにメールで送っておき、クラス当日には、ペットの写真が白黒で印刷されたキャンパスが用意されているようなのです。「塗り絵のような感じよ。大丈夫よ。」という友人の言葉を信じて、クラスに参加してみることにしました。

せっかく参加するのなら、いつも我が家のベルジアン・ターピュレンのヒューゴとプレイデートしている「犬友」を誘ってみようかと数人に声をかけました。わた

し自身が迷ったのと同じように、絵を描くのにためらう方が多かったので、写真の下絵があるそうですよ、と安心してもらいました。そして他の知り合いの方にも声をかけてもらい、一緒に参加するメンバーを募ったところ、10人以上集まることになりました。

Pinot's Paletteでは、10人以上集まれば、通常のクラスが開催されていない時間帯にプライベート・パーティを開くことができます。言葉の不自由なく日本語で愛犬の話しながら自分の犬の絵を描くのは楽しそうですし、また犬好きの輪が広がって情報交換などもできそうです。早速参加メンバーの都合を聞いてPinot's Paletteに予約を入れ、2014年11月10日に開催することにしました。申し込み締め切りまでの間、ヒューストン近郊で犬と一緒に暮らしている方をもっと誘ってほしいとお願したところ、合計18人の参加者で開催できることになりました。日本から犬を連れて来た方、ヒューストンで犬を飼い始めた方、中には、前回のヒューストン滞在時に犬との生活を始め、日本に帰国後、再度同じ犬と2回目のヒューストンに来た方もいて、こんなにたくさんの日本人の方がヒューストン近郊で犬と暮らしているのかと正直驚きました。初対面の方同士で隣合わせになっても、犬という共通の話題があるため、自己紹介よりもまず「我が子紹介」から始まるって話も弾み、3時間

間のクラスは和やかな雰囲気であつという間に過ぎてしまいました。

心配された作品はというと、インストラクターの説明を聞き、分からないことを質問しながら、できあがってみると、満足のいく作品が完成しました。実際に描いてみて思ったのは、出来上りの作品ももちろん大切なのですが、それを完成させるまでの3時間の間、筆に絵の具をつけてキャンパスにのせていく作業を通じて、まるで自分の犬をなでているかのような錯覚を覚え、自分の犬と向かい合っただけの大切な時間を過ごしたような気分になり、参加して本当に良かったと思いました。

今回の絵を描くにあたり、我が家のヒューゴを描くのか、昨年3月に亡くなったウェルシュ・コーギーのシャーリを描くのかとても迷いました。他の参加者が今も自宅



いる犬を描く中で、ひとりだけ、亡くなった犬を描くのはとても勇気が要りました。それでも、やはり年功序列で、「長女」を先に描こうと思い、もう1人亡くなった愛犬を描くという方の参加も後押しになり、シャーリを描くことができました。作品を仕上げてみると、縁があつてテキサスと一緒に来て、ここで天国に旅立った愛犬をこの土地で絵に残すことができ、嬉しく思いました。

この絵を描くクラスは、参加者の方々にも好評でした。多頭飼いの別の犬も描きたいという声や、もう1枚別のポーズの絵を描きたいという声、またシャーリ同様に亡くなった犬を描きたいという声があり、早速2015年1月22日に第2回目の「プロジェクト・ペット」を開催しました。第1回目を上回る20人の参加者が集まり、初めて参加の方に2回目参加の方がアドバイスをされる様子も見られて賑やかな会になりました。

キャンパスのサイズが16×20インチと小さくはなく、いずれ日本に帰国した際に飾る場所が足りなくなりそうだと、これ以上の開催は難しいかと思いましたが、それでも、もう1枚、テキサス風に犬の絵を描きたいと思い、2015年2月27日に第3回目の「プロジェクト・ペット」を企画しました。Pinot's Paletteに交渉して10×10インチの少し小さいサイズのキャンパスにしたこのクラスにも参加者が大勢集まり、また新たに交流を深めることができました。

考えてみると、その場に犬は1頭もいないのに、参加者の間に聞かれるのは犬の話ばかり。我が子自慢は聞く方も話す方も笑顔が絶えません。初対面の方と隣合わせで緊張するかと思えば、3時間後には「またお会いしましょう」と連絡先を交換する方もいて、犬の力はすごいなと改めて感じました。犬の縁で知り合った方々とのつながりで、ヒューストンライフはまたいっそう楽しくなり、みなさまに感謝しております。



ヒューゴの「犬友」の肖像画



第2回目では、「長男」ヒューゴを描きました



第2回目の参加者は第1回を上回る20名!

4月 **5** 日 (日)

ソフトボール
大会

商工会ソフトボール大会

先月ソフトボール大会の参加募集をしたところ、19チームの応募がありました。今年の大会はHouston Sportsplexのフィールド6面をフルに使っての一日開催となります。ご家族やお知り合いと一緒に観戦・応援を宜しくお願いします。

開催月日: 2015年4月5日(日) <雨天の場合は5月24日に延期>

開催場所: Houston Sportsplex (12631 S. Main St. Houston, TX 77085)

www.houstonsportsplex.com



4月 **18** 日 (土)

ジャパン
フェスティバル



第22回ジャパンフェスティバル

第22回Japan Festivalは、4月18日(土)10:00-19:00、4月19日(日)10:00-17:00にHermann Parkで開催予定です。Japan Festivalは、毎年2万人以上の来場者を迎えるヒューストンでも有数の大イベントです。ヒューストン日本商工会は、本年もキッズ縁日の運営を担当します。毎年商工会の会員、ご家族の皆様にはボランティアとしてご参加いただき、大活躍いただいております。現在、商工会会員企業様には、ボランティア募集のご案内を送らせていただいております。本年もご参加ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



4月 **26** 日 (日)

テキサス会
総領事杯

第551回日本商工会・日本人会共催テキサス会「総領事杯」開催のお知らせ

第551回テキサス会「総領事杯」を下記日程で開催致しますので、皆様奮ってご参加下さい。参加資格は商工会、日本人会会員に限らず、日本人コミュニティ関係者の方はどなたでもご参加いただけますので、ご家族、友人、知人、出張者等ゴルフをなさる方の幅広いご参加をお待ちしております。ご寄付、賞品のご提供も宜しくお願い申し上げます。

開催日時: 2015年4月26日(日) 午前8時より <小雨決行>

開催場所: The Clubs of Kingwood (1700 Lake Kingwood Trail, Kingwood, TX 77339)



The Forest Course

5月 **2** 日 (土)

古本市



商工会生活・情報委員会主催「古本市」開催のご案内

生活・情報委員会が上記のとおり、古本市を開催することになりました。三水会センターにて午前のみ開催を予定しており、午前10時より整理券を配布する予定です。

なお、三水会センター図書館では本や雑誌、絵本などのご寄付を随時受け付けておりますので、ご家庭で読み終わったまま置いてある本がございましたら、是非図書館へご寄付ください。また、今回の古本市では日本語を学習している現地校の生徒の皆様にもお役に立てていただけるように、日本語教材(辞書、教材、漢字ドリル、使いかけの国語ノートなど)のコーナーを設ける予定です。三水会センターに専用の箱を用意しますので、該当するものがございましたら、併せてご寄付をお願いいたします。

前回の売り上げ同様に、図書館の子供向けの本の充実に使わせていただきたいと思います。

開催日時: 2015年5月2日(土) 10:30~12:00

開催場所: 三水会センター 会議室

5月 **10** 日 (日)

ピクニック

商工会・日本人会共催ピクニック

今年も、Jones Creek Ranch Park(前称:The Gordon Ranch)でピクニックが開催されます。昨年度まで会場として使用していたThe Gordon Ranchの運営が変わり、名前が新しくなりました。プレイグラウンド等の遊戯設備も追加され、4月中に新装オープンする予定です。

会場にはバレーボールやバスケットボールコートがあり、パターゴルフ等大人も子供も楽しめる各種アクティビティをご用意する予定としております。また、パビリオンや木陰でピクニックテーブルを囲んでのBBQをゆっくり楽しんでいただけます。参加申込みなどの詳細は3月下旬以降にご連絡します。

開催月日: 2015年5月10日(日) <雨天決行>

開催場所: Jones Creek Ranch Park (7714 FM 359 Richmond, TX 77406-7724)





© KUMIKO

(注) 日中仕事し昼中には12時前だ。私の上司は、おつかひ様です。

Houston Walker

■Bayou City Art Festival (Memorial Park) March 27 - 29 :

An arts and entertainment destination for the entire family, Bayou City Art Festival Memorial Park offers a fun filled day of art, entertainment, food, wine and beer featuring the popular Green Mountain Energy Children's Creative zon: 入場料10ドル
<http://www.artcolonyassociation.org/>

■Houston Children's Festival (Tranquility park 400 Rusk St., Houston, TX 77002, Houston) March 28 and 29:

年に一度のヒューズトン子供祭りです。ヒューズトンに住んでいる子供たちが楽しく過ごせるようにプログラムされた楽しいフェスティバルですので是非参加してください! \$12/parson (under 3 years and under is free)
<http://www.houstonchildrensfestival.com/>

■2015 Shell Houston Open (Humble, TX) March 30 - April 5:

This PGA TOUR event--the 10th oldest tour event--is Houston's largest and most prestigious golf event hosting 144 of the world's best golfers competing for \$6Mm in prize money. Please find more information at
<http://www.shellhoustonopen.com/>

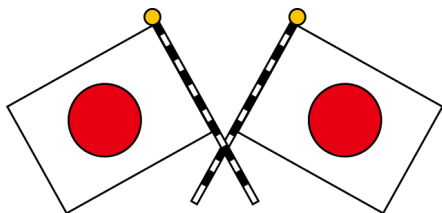
■Pearland Craw Fish Festival (On HWY

288 at Discovery Bay & Business Center Dr.) April 10-12:

Pearland でザリガニ祭りテキサス人が大好きなザリガニを食べてみませんか?ザリガニ以外にもおいしい食べ物やゲームにライブミュージックなど楽しく過ごせるファミリーイベントです。Admission \$8.00. kids under 12 year-old is free.
<http://pearlandcrawfishfestival.com>

■Japan Festival (Memorial Hermann Park) April 18&19: 待っていました!年に一度の

ジャパンフェスティバル!子供から大人まで楽しめる素晴らしいイベント。もちろん商工会会員もボランティアで参加しますので是非遊びにいらしてください。入場料無料。
<http://www.houstonjapanfest.org/>



編集後記

今年2月後半は、ヒューズトンらしからぬ大変寒い日が続きました。会員の皆様はいかがお過ごしだったでしょうか。

さて、今月号の「ワンダフル」は、「プロジェクト・ペット」がテーマです。絵を描くスタジオで、それぞれの参加者が自分のペットを描くのだそうですが、クラス当日には、自分のペットの写真が白黒で印刷されたキャンパスが用意されていて、塗り絵のような感覚で楽しめるそうです。10人以上集まるとクラスをプライベートで開くことも出来、初対面の方同士でも、日本語で「我が子」(ペット)自慢に話が弾むそうです。また、筆に絵の具を付けてキャンパスにのせてゆく作業は、まるで自分のペットをなでているようだそうです。ヒューズトンライフの意外な楽しみを、ご紹介頂きました。

他方、ヒューズトンの発展に伴って、補習校の児童・生徒数が今年4月には500人を超えそうな勢いで、先生の募集も急務となっています。補習校の先生の体験記、今回は、31年勤務頂いている河島先生から頂きました。高等部で国語を教えておられるそうですが、日本で週5日で教える授業内容を、週1回の短期集中型に作り替えることは最大の難関だそうです。一方、卒業された方が家庭を持って教室を訪ね、自分の子供も是非補習校に通わせたいと話してくる姿に、喜びを感じておられるそうです。補習校の歴史の重みと、河島先生の情熱を感じます。

なお、春恒例のソフトボール大会は、今年は昨年より1チーム多い19チームが参加します。各チームの盛り上がりをお伝えすべく、今月号には各チームからコメントをお寄せ頂きました。熱戦を期待します。
(白木 秀明)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューズトン日本商工会
発行責任者 : 高杉 慎
編集委員長 : 白木 秀明
構成・編集 : 岡野真弓/鍵富雅紀/前田正子
印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating
(713) 782-2000